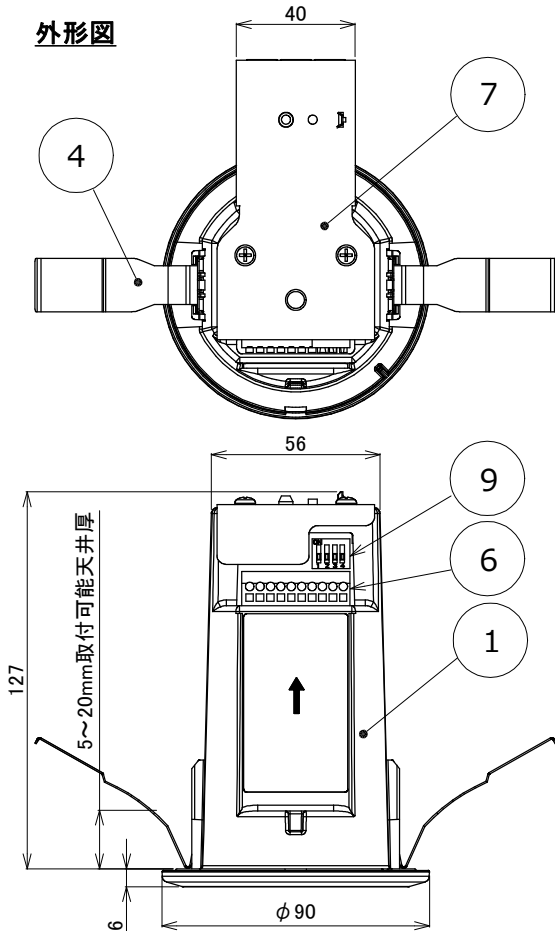
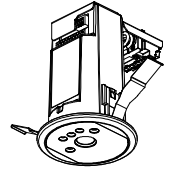


外形図

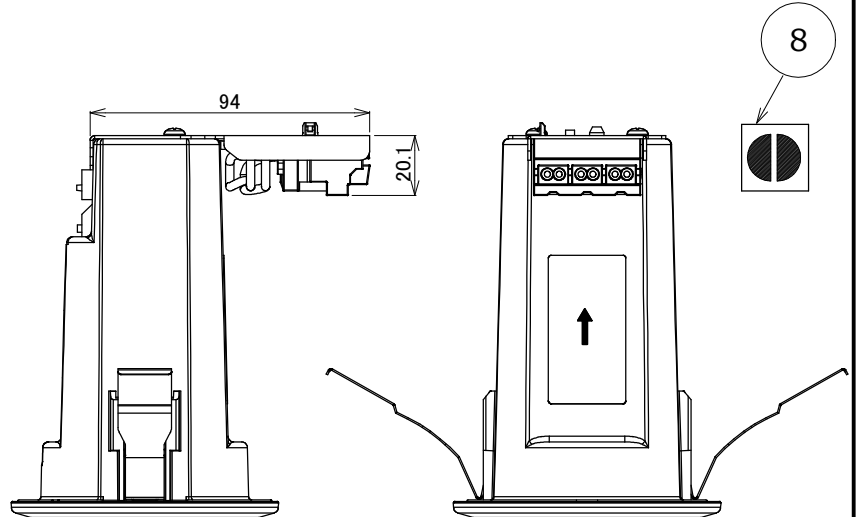


MILCO.S ワイヤレスタイプ コントローラ

天井埋込穴寸法  $\phi 75 \pm 0.3$  mm  
 取付可能天井厚 5mm~20mm

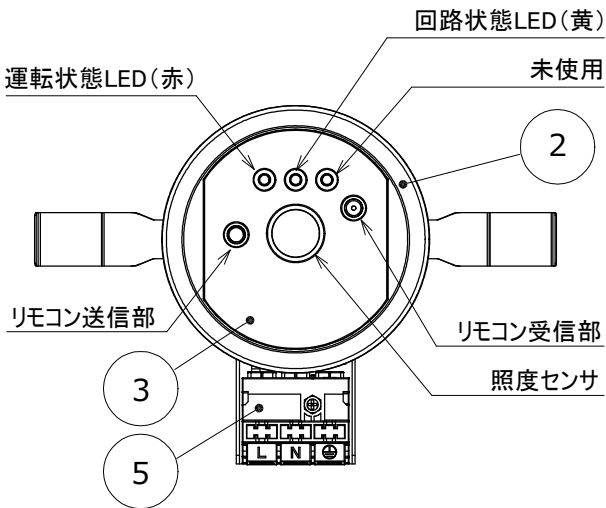


本器は、無線調光ユニット搭載LED照明器具を制御するコントローラです。  
 設定操作には、双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)またはコンパクトリモコン(MS201)が  
 必要です。  
 設定できる項目については各リモコンの取扱説明書をご覧ください。



仕様

定格電圧(周波数)	AC100~254V (50/60Hz)	
使用環境	温度:-10~35℃(夏季一時的周囲温度:50℃以下) 湿度:85%RH以下	
使用場所	屋内(但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ、 腐食性ガス、振動、結露のおそれのない場所)	
無線仕様	920MHz帯 特定小電力無線(ARIB STD-T108準拠)	
無線通信範囲	半径35m以内	
調光範囲	調光率:100%~5%, 0%(消灯) 調光範囲は、接続される適合照明器具により異なります。	
照度センサ検知範囲	$\phi 4$ m(設置高さ2m), $\phi 6$ m(設置高さ3m)	
最大設置高さ	3m(照度センサ使用時)、15m(照度センサ未使用時)	
通信仕様	RS-485 115.2kbps	
接続台数	コントローラ	最大10台(アドレス1~10)
	設備インターフェース機器	最大5台(アドレス11~15)
シーン数	6シーン(シーン1~6)	
回路数	2回路(回路1、2)	
時計バックアップ時間(目安)	1週間(初期状態:製品が新品で設置された状態)但し、温度 環境や設置年数によって時間が短くなりますので、停電時にコント ローラ時計確認をして、コントローラ時計合せを行ってください。	



検認	9	アドレススイッチ		1	4極	MILCO.S ワイヤレスタイプ コントローラ
船山	8	遮光シール		1	黒( $\phi 21$ )	
	7	端子台取付金具	SGCC	1	t1.0	形名 <b>MS692SA(1/5)</b>
	6	通信線端子台		1	10極	
照査	5	電源端子台		1		質量 <b>0.3 kg</b>
	4	取付ばね	SUS304	2	t0.5	
柴田	3	カバーパネル	PET	1	マンセルNo.9.0(ホワイト)	品番
	2	カバー	PC+ABS	1	ホワイト	
設計・改定	1	本体	PC+ABS	1	ホワイト	材料
中井						
	品番					

## ●適合接続電線

接続電線	線種	総配線長
電源線	VVF3 φ1.6, φ2.0mm	—
通信線・終端線	FCPEV φ0.9mm×1P	100m以内
	FCPEV φ1.2mm×1P	200m以内

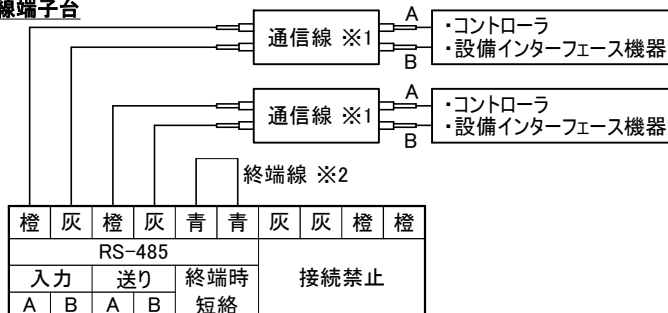
## ●電源線の接続

- (1) 電源線は電源端子台の差込穴に確実に差し込んでください。(剥き長さ:10~14mm)
- (2) アース線は確実に接続してください。
- (3) D種接地工事を行ってください。

## ●通信線の接続

複数のコントローラや設備インターフェース機器を接続する場合は、通信線、終端線を下図のように接続してください。本器1台で使用する場合は、通信線、終端線の接続は必要はありません。(剥き長さ:8.5~9.5mm)

### 通信線端子台



※通信線は動力線・高圧線との近接や束線を行わないでください。また、通信線と動力線・高圧線が平行する時の離隔距離は下表に従ってください。

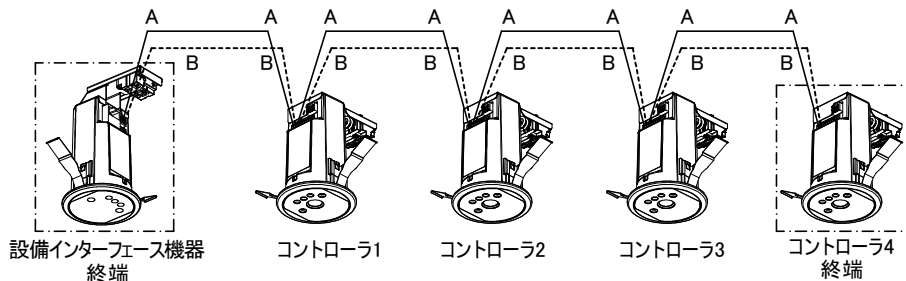
平行する動力線、高圧線条件	離隔距離
600V以下の低圧動力線	300mm以上
その他の高圧線	600mm以上

※1 通信線には極性がありますので、接続時には必ず極性を合わせてください。

※2 通信線の末端となるコントローラや設備インターフェース機器は、終端線(通信線等)で短絡させ終端処理をしてください。

### 【複数のコントローラおよび設備インターフェース機器の接続例】

- ・コントローラまたは設備インターフェース機器間を通信線で接続するとき極性(A⇔A、B⇔B)を合わせてください。
- ・複数のコントローラや設備インターフェース機器を接続する場合は、通信線を通信線端子台の「RS-485(入力・送り)」に接続してください。
- ・末端の機器には、終端線を通信端子台の「RS-485(終端時短絡)」に接続してください。



### 注意

通信線の配線は送り配線とし、終端処理を必ず行ってください。

(分岐配線・ループ配線を行った場合や終端処理を行わない場合、通信エラーが発生し、設定・操作など運用ができなくなるおそれがあります。)

## ●アドレスの設定

アドレスはアドレススイッチもしくは双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)で設定してください。

『アドレス0』はアドレスが設定されていませんので、必ず1~10のアドレスを設定してください。

アドレススイッチと双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)で最後に設定したアドレスが反映されます。

このため、アドレススイッチの設定と双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)のアドレスモニタ値が異なることがあります。

(アドレスの設定は本器および双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)の取扱説明書、アドレスモニタは双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)の取扱説明書をご覧ください。)

※双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)で「コントローラ設定クリア」や「無線情報初期化」すると最後に設定したアドレスを保持します。

## ●システムIDの設定

アドレス設定後、双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)またはコンパクトリモコン(MS201)よりシステムID設定を必ず行ってください。

※システムIDを設定しないと、他のコントローラが同じアドレスの場合に誤作動します。

システムIDの設定およびシステムIDの初期化については本器、双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)または、コンパクトリモコン(MS201)の取扱説明書を参照してください。

検認

船山

照査

柴田

設計・改定

中井

2304 CA

### MILCO.S ワイヤレスタイプ コントローラ

- ・適合接続線
- ・電源線の接続
- ・通信線の接続
- ・アドレスの設定
- ・システムIDの設定

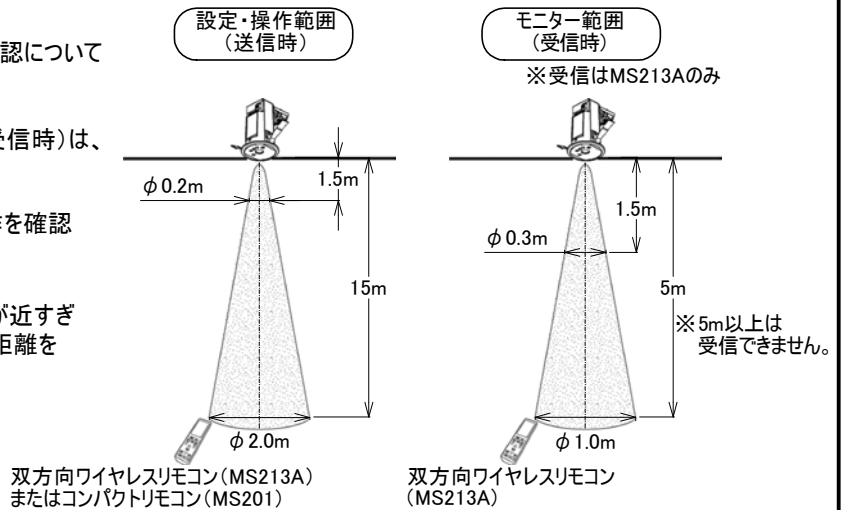
形名 MS692SA (2/5)

図番 EY28148-A

● 双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)またはコンパクトリモコン(MS201)の送信・受信範囲と動作確認について

- (1) 双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)のモニター範囲(受信時)は、設定・操作範囲(送信時)より狭くなっています。
- (2) 本器の運転状態LED(赤)点滅及び「ピッ」音で動作を確認します。

※ 赤外線を送信・受信するため、コントローラ間の距離が近すぎると他のコントローラに影響しますので、コントローラの距離を5m以上離して設置してください。  
 ※ 対象のコントローラの真下で操作してください。

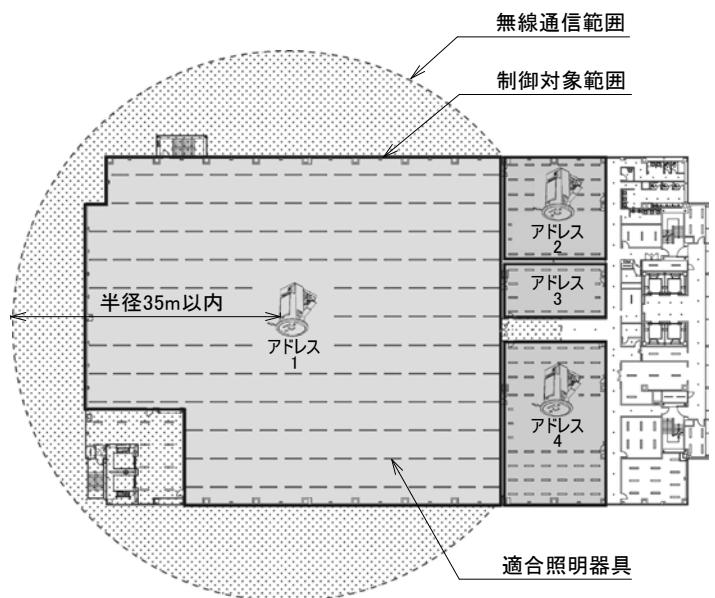


● 無線の制御範囲について

- (1) 照明器具の制御対象範囲  
本器より見通しの良い場所で、無線通信範囲の半径35m以内が制御対象範囲となります。

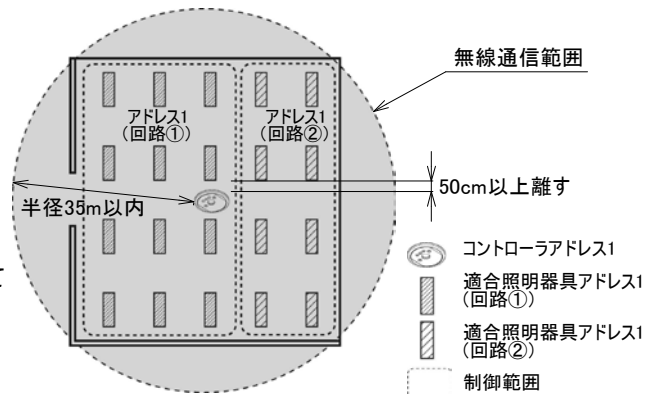
※ 本器は無線通信範囲内に適合照明器具が入るように設置位置を決定してください。

- (2) コントローラの設置目安  
本器は、各部屋に設置し、アドレス1~10の間で別々に設置してください。  
無線通信は上下階や他の建物に設置している適合照明器具に影響を与えますので、アドレス設定後は、必ず双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)またはコンパクトリモコン(MS201)よりシステムID設定を行ってください。



【ワイヤレスコントローラ設置例】

- ① 本器1台で、2つの制御範囲(回路)を制御することが可能です。2つの制御範囲(回路)を制御する場合は、適合照明器具の無線調光ユニットのアドレスと回路番号を回路①と回路②に設定してください。
- ② 本器と照明器具は50cm以上離して設置してください。
- ③ その他設置時の注意事項については、別紙EY28150を参照してください。



検認
船山
照査
柴田
設計・改定
中井

2304 CA

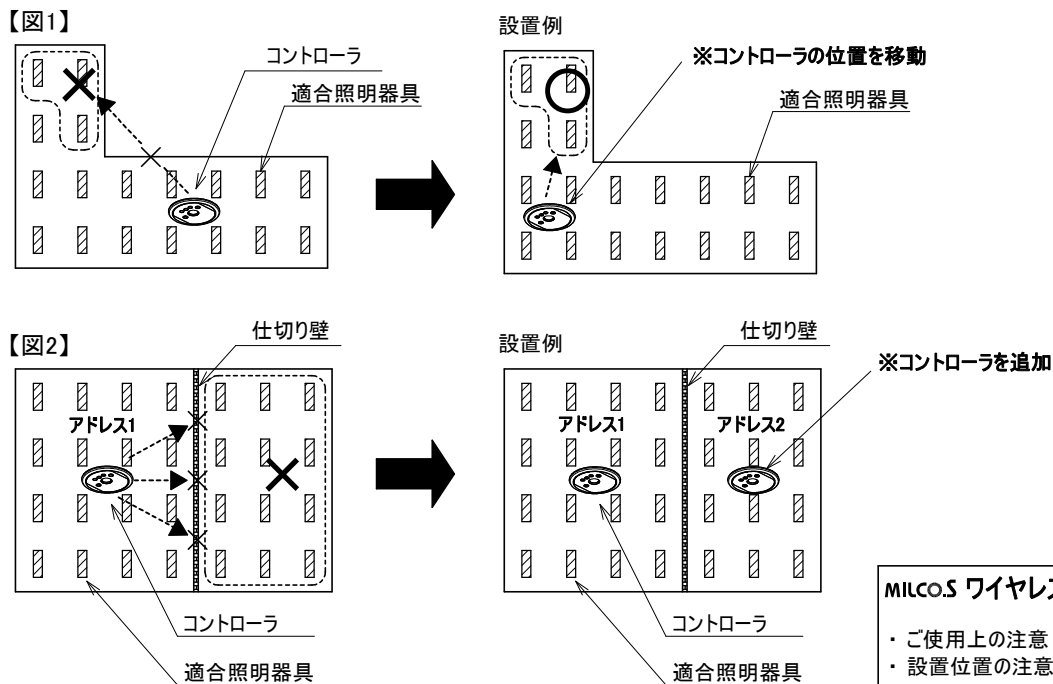
MILCO.S ワイヤレスタイプ コントローラ	
・ 双方向ワイヤレスリモコン(MS213A) またはコンパクトリモコン(MS201)の送信・受信範囲と動作確認について ・ 無線の制御範囲について	
形名	MS692SA (3/5)
図番	EY28149-A

## ●ご使用上の注意

- (1) 本器で制御する照明器具は必ず無線調光ユニット搭載LED照明器具(適合照明器具)をご使用ください。
- (2) 屋内専用機器となっておりますので必ず屋内でご使用ください。  
ただし湿気が多い場所や、雨水のかかる場所に設置しないでください。故障の原因になります。
- (3) 本器の電源は専用回路とし、常時通電でご使用ください。
- (4) 電源が切れていることを確認してから、電源線・通信線等を接続してください。
- (5) 内部に電子部品を使用していますので、落したり衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- (6) 本器に水や殺虫剤等の化学薬品を直接かけないようにしてください。誤動作や故障の原因になります。
- (7) 特定小電力無線設備として技術基準適合証明を受けた部品が内蔵されています。  
内蔵している部品を分解、改造は、法律で禁じられています。
- (8) 日本国内専用ですので、国外では使用できません。
- (9) 本器の分解、改造はしないでください。
- (10) 本器の取付け・お手入れ・保守点検の際は、手袋を着用してください。

## ●設置位置の注意事項

- (1) 本器からの距離が35m以内でも、電波の特性により電波が弱くなる箇所が発生することがありますので、その場合、本器または、無線中継器兼PWM変換器(MS409A等)を追加してください。
- (2) 電波で通信するため、周囲の環境や位置によっては一時的に動作しない場合や遅延する場合があります。時間を置いて操作してください。
- (3) 下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなります。  
このような場合動作しないことがありますので、ご注意ください。
  - ① 本器と適合照明器具間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
  - ② 本器と適合照明器具間にある断熱材にアルミ箔を貼りつけたグラスウールを使用している。
  - ③ 本器と適合照明器具の周辺が金属物で囲まれている。(金属物の壁面や金属製の棚などで囲まれている場所)
  - ④ 同じ周波数帯を使用するシステムが付近に設置されている。
  - ⑤ 本器または照明器具の近くで、直流電圧で駆動するベルやモータなどの機器が動作している。
  - ⑥ 本器または照明器具の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器を使用している。
  - ⑦ テレビ、ラジオの送信所周辺の強電界地域や各種無線局が近くにある。
  - ⑧ 操作する人の位置で電波を遮っている。
- (4) 同一の部屋でも壁があると動作しない場合があります。【図1】  
制御対象の適合照明器具全体から見通せる位置に本器を移動してください。【図1】
- (5) 仕切り壁があると動作しない場合があります。【図2】  
仕切られた側の部屋にも本器を追加してください。【図2】
- (6) 設置完了後、内装変更など仕器の位置を移動しますと電波環境が変化しますので、制御できなくなる場合があります。  
その場合は本器の位置を見直すか、無線中継器兼PWM変換器(MS409A等)を追加してください。



検認  
船山  
照査  
柴田  
設計・改定  
中井

### MILCO.S ワイヤレスタイプ コントローラ

- ・ご使用上の注意
- ・設置位置の注意事項

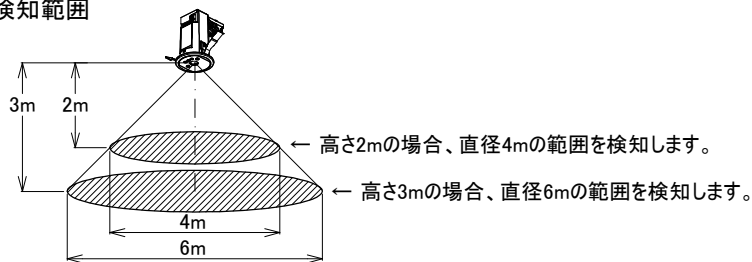
形名 MS692SA(4/5)

図番 EY28150-A

## ●照度センサについて

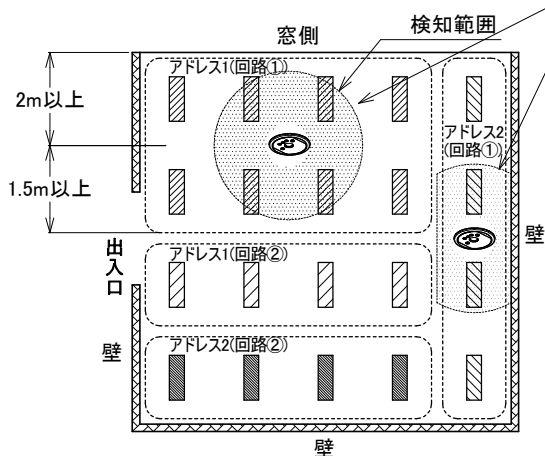
本器は、双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)で照度センサの設定ができます。  
双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)の取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。

### (1) 照度センサ検知範囲



- (2) ひとつの制御範囲に本器が1台必要です。
- (3) 本器は検知範囲の照度を検出し、照度センサへの光の入射量が一定になるように、照明器具の明るさを調整していますので、制御範囲の中央付近に設置してください。
- (4) 本器は、窓から2m以上離して取付けてください。また、制御範囲の端部から1.5m以上内側に取付けてください。
- (5) 直射光・窓・ブラインド等を検知範囲に入れないようにしてください。窓やとなりの制御範囲が検知範囲に入ってしまう場合は、遮光シールを必要なサイズに切って検知範囲を制限してください。

### 【コントローラ配置・遮光シール貼付例】



※ このコントローラの設置位置のように窓側および、となりの制御範囲の影響を受け易い位置に設置する場合、図1・図2のようにしてください。

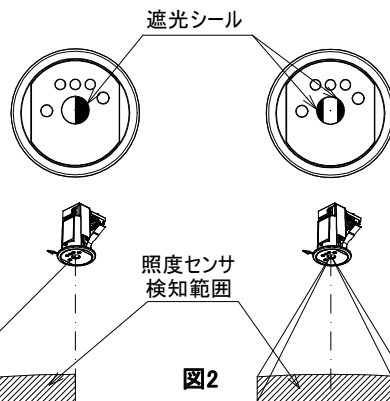


図1

図2

窓側の外光対策として遮光シールを窓側に貼る

左右に他のコントローラの制御範囲の影響がある場合、左右に遮光シールを貼る

- ☉ :コントローラ アドレス1
- ☉ :コントローラ アドレス2
- ▨ :適合照明器具 アドレス1(回路①)
- ▨ :適合照明器具 アドレス1(回路②)
- ▨ :適合照明器具 アドレス2(回路①)
- ▨ :適合照明器具 アドレス2(回路②)
- :制御範囲 ※1

※1 制御範囲はコントローラのアドレスと回路番号、適合器具のアドレスと回路番号の組み合わせによって決まります。

- (6) 照度センサ部が汚れると感度が落ち、調整された照度が得られなくなります。定期的に乾いたやわらかい布などで、傷をつけないよう軽く拭いて汚れを落としてください。
- (7) 照明器具の違いにより、照度にムラが生じる場合がありますが異常ではありません。
- (8) 検知範囲内にロッカーなどの高い什器が配置された場合、照度センサへの光の入射量が変化するため、制御したい場所の明るさを適正に制御できない場合があります。
- (9) 本器が壁面やパーテーション近傍などに設置された場合、壁面やパーテーションなどの反射光の影響を受け、適正に制御できない場合があります。
- (10) 本器の制御範囲以外の照明器具からの光が検知範囲内に入射したり、空調などの影響で照明の明るさが変化したりすると、制御したい場所の明るさを適正に制御できない場合があります。
- (11) 明るさの分布状態の違いによっては、同じ平均照度でも測定地点の明るさが異なる場合があります。
- (12) 検知範囲の環境が変化すると適正に制御できなくなりますので、再度照度センサの初期設定(感度設定)を設定してください。
- (13) 高天井(設置高さ3mより上)で照度センサは使用できません。

検認

船山

照査

柴田

設計・改定

中井

## ●タイマー(スケジュール)機能について

本器は、双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)でタイマー(スケジュール)機能が設定できます。スケジュールには、あらかじめ設定された時刻で動作する「時刻モード」と経過時間で動作する「タイマーモード」があります。設定方法詳細は双方向ワイヤレスリモコン(MS213A)の取扱説明書を参照してください。

### MILCO.S ワイヤレスタイプ コントローラ

- ・ 照度センサについて
- ・ タイマー(スケジュール)機能について

形名 MS692SA(5/5)

図番 EY28151-A